

令和6年12月美馬市議会定例会議事日程（第1号）

令和6年11月26日（火）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 会期の決定について
- 日程第 3 議案第71号 令和6年度美馬市一般会計補正予算（第5号）
議案第72号 令和6年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第73号 令和6年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第74号 令和6年度美馬市下水道事業会計補正予算（第2号）
議案第75号 美馬地区広域行政組合規約の変更について
議案第76号 美馬地区広域行政組合が共同処理する事務の変更に伴う財産処分について
議案第79号 工事請負変更契約の締結について
議案第80号 工事請負契約の変更について
議案第81号 工事請負契約の変更について
議案第82号 美馬市シカ肉等処理加工施設の指定管理者の指定について
議案第83号 重清北交流促進簡易宿泊施設の指定管理者の指定について
- 日程第 4 議案第77号 物品購入契約の締結について
議案第78号 物品購入契約の締結について
- 日程第 5 承認第12号 専決処分の承認を求めることについて
（令和6年度美馬市一般会計補正予算（第4号））

令和6年12月美馬市議会定例会会議録（第1号）

◎ 招集年月日 令和6年11月26日

◎ 招集場所 美馬市議会議場

◎ 開 会 午前10時00分

◎ 出席議員

1番	蔭山 勝利	2番	南 渚	3番	細川 健一
4番	森野 信一	6番	田中みさき	7番	立道 美孝
8番	都築 正文	10番	中川 重文	12番	郷司千亜紀
13番	井川 英秋	14番	西村 昌義	15番	久保田哲生
16番	片岡 栄一	17番	川西 仁	18番	前田 良平

◎ 欠席議員

5番	藤原 昌樹	9番	田中 義美	11番	林 茂
----	-------	----	-------	-----	-----

◎ 地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

市長	加美 一成
副市長	岡 建樹
副市長	東條 洋士
企画総務部長	吉田 正孝
保険福祉部長	住友 礼子
市民環境部長	伊内 公一
経済部長	藤田 伸次
建設部長	園木 一昌
水道部長	藤重 久
消防長	根本 賢一
会計管理者	高尾 寿美
企画総務部次長（秘書人事課長）	渡邊 晴樹
企画総務部企画財政課長	濱原 友和
教育長	小笠原仁美
副教育長（教育次長）	藤本 貴子

◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	篠原 孝志
議会事務局次長	大島 康作

◎ 議事日程

議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

◎ 会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。

6番	田中みさき	議員
8番	都築 正文	議員
10番	中川 重文	議員

開会 午前10時00分

◎議長（川西 仁議員）

はい、おはようございます。

ただいまの出席議員は15名であります。定足数に達しておりますので、これより、令和6年12月美馬市議会定例会を開会いたします。

なお、加美市長からのご挨拶につきましては、提案理由の説明の際に併せてお願いをすることといたします。

ただいまから本日の会議を開きます。

なお、藤原昌樹議員、田中義美議員、林茂議員より欠席の届出が出ておりますので、ご報告をさせていただきます。

日程に入るに先立ち、諸般の報告を行います。議長諸般の報告といたしまして、主なものについて報告させていただきます。

まず、10月9日、10日、第19回全国市議会議長会研究フォーラムが岩手県で開催をされ、出席させていただきました。

次に、10月18日、第20回美馬市社会福祉大会が開催をされ、議員各位の皆さんとともに出席をさせていただきました。

次に、10月26日、つるぎ町合併20周年記念式典が開催をされ、出席をさせていただきました。

次に、10月28日、山口県柳井市議会建設経済水道常任委員会から行政視察があり、市長部局とともに対応をさせていただきました。

次に、10月30日、群馬県藤岡市議会経済建設常任委員会及び阿蘇市議会文教厚生常任委員会から行政視察があり、これも市長部局とともに対応をさせていただきました。

次に、11月2日、第20回美馬市文化祭開会式、文化講演会及び美馬市教育振興大会が開催をされ、議員の各位の皆さんとともに出席をさせていただきました。

次に、11月8日、一部事務組合議会臨時会が開催をされ、立道副議長、細川総務常任委員会委員長とともに出席をさせていただきました。また、立道副議長が美馬西部消防組合、美馬西部共立火葬場組合、及び西部特別養護老人ホーム組合の議会選出監査委員に選任をされました。

次に、11月13日、14日の両日にわたりまして、東京都の国土交通省及び地元選出国會議員を、加美市長、国道193号美馬高松間整備促進特別委員会の井川委員長、蔭山委員とともに、訪問をさせていただき、要望活動等を行いました。

次に、11月18日、第19回徳島県西部市議会連絡協議会議員研修会が本市で開催をされ、議員の皆様方とともに出席をさせていただきました。また、加美市長よりご祝辞をいただきました。

次に、11月21日、拉致問題啓発舞台劇公演、翌22日、映画上映会が開催をされ、議員の皆さんとともに出席をさせていただきました。

次に、11月23日、令和6年度近畿美馬市ふるさと会第18回通常総会が大阪市で開催をされ、議員の皆さんとともに出席をさせていただきました。

次に、監査委員より、令和6年8月分及び9月分の例月出納検査についての報告が提出をされております。

なお、ただいま報告をいたしましたそれぞれの関係書類につきましては、事務局に保管をしておりますので、必要に応じ、ごらんいただきたいと思います。

次に、各委員長より閉会中の継続調査の報告を行います。

まず初めに、産業常任委員会委員長、南渚議員。

◎2番（南 渚議員）

2番、南。

◎議長（川西 仁議員）

はい、2番、南渚議員。

[2番 南 渚議員 登壇]

◎2番（南 渚議員）

ただいま議長の許可をいただきましたので、産業常任委員会の閉会中の継続調査報告をいたします。

産業常任委員会では、去る11月6日から7日にかけて、広島県広島市及び広島県尾道市へ視察研修を実施いたしました。

1日目は、広島市の株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションから、瀬戸内エリアにおけるホテル誘致について説明を受けました。この会社は、子会社の株式会社MIMAチャレンジが本市のうだつの町並みにおいて、古民家をホテルに改修した宿泊事業やイタリアンレストラン事業を営んでおり、本市の地方創生に取り組んでいただいております。

まず、この会社がホテル誘致に携わった中・四国で初となるヒルトン広島の施設を見学させていただきました。その後、ホテルの会議室で、ホテル誘致についての研修を受けました。

ヒルトン広島が建っている土地は、元々は警察署があり、広島県が所有していた土地で、警察署が移転することが決まったことで、この土地の跡地利用が検討されることになった。その中で、広島県の課題であった大規模な施設のホテルがないことや、国際観光都市として売っていくためにも外資系ホテルを誘致することになったとのことでした。

コロナが明け、インバウンド需要は上昇しているが、外国人旅行客の8割は東京、大阪、京都に滞在し、残りの2割を地方が取り合う状況にある。その中で、うだつの町並みは、観光として非常に高いポテンシャルを持っていると感じている。四国の交通の要所でもあり、コンテンツ等を充実させれば大きく変わっていくと思われるとのことでした。

2日目は、尾道市瀬戸田町にあるJAひろしま せとだ支店を訪問し、「せとだエコレモン」について説明を受けました。

瀬戸田町は、瀬戸内海の中央に浮かぶ生口島と高根島の2つの島からなる柑橘類と観光の町で、レモンの生産量が日本一を誇っている町でございます。しかし、生産量が日本一でも、売場では輸入レモンが圧倒的に優位に立つ中で、どうさばいていくかが大きな課題であったようです。

そこで、販路開拓には瀬戸田産レモンの魅力を伝える必要があると考え、輸入レモンと違って店頭が届くまで日数が短く、防カビ剤を使用しないで済むため、「皮まで安心して食べれる」というキャッチフレーズで、安心感という魅力を前面に打ち出す戦略を取ったとのことでございました。

また、課題としては、苗木を植えて出荷できるまでに約10年かかるので、新規参入することが難しいことや、ほかの農業とも同じく、後継者問題があるとの課題もございました。

以上、今回の視察研修において得られました取組等は、参考にすべき点も多く、今後、産業常任委員会における活動に生かしてまいりたいと考えております。

これで産業常任委員会の継続調査報告を終わります。

◎議長（川西 仁議員）

次に、福祉文教常任委員会副委員長、井川英秋議員。

◎13番（井川英秋議員）

13番、井川。

◎議長（川西 仁議員）

はい、13番、井川英秋議員。

[13番 井川英秋議員 登壇]

◎13番（井川英秋議員）

おはようございます。ただいま、議長の許可をいただきましたので、福祉文教常任委員会の閉会中の継続調査報告をいたします。

福祉文教常任委員会では、去る11月6日から7日にかけて、京都府京田辺市及び岡山県備前市へ行政視察を実施いたしました。今回の行政視察では、森野委員長が参加できませんでしたので、副委員長である私が報告をさせていただきます。

まず、1日目の京田辺市では、小学校の水泳の授業の民間委託について視察をいたしました。

今回、京田辺市へ視察を行った経緯を少し説明いたしますと、現在、本市においては、岩倉小学校のプールが老朽化に伴い使用できない状態で、改修を行うのにも多額の費用がかかります。学校のプールの老朽化問題には、将来的にはほかの学校にも波及していくことが予想され、少子化が進む中で、学校のプールや水泳の授業のあり方について考えていく必要があります。

今回視察を行った京田辺市では、令和4年度から試行期間を経て、本年度からは市内全ての小学校の水泳授業の民間委託を行っているとのことでございました。本市が現在抱えている問題の解決に向けて、何か参考になればとの考えから、今回の視察に至りました。

京田辺市では、プールの老朽化の問題に加え、昨今の気温上昇に伴う授業数の確保、学校の教職員のプール清掃や、水温管理等の授業の準備にかかる負担が大きいことも課題となっており、それらの問題を解決するため、民間委託に至ったとのことでございました。

内容を簡単に説明いたしますと、市内のスイミングスクールと委託契約を結び、学校からバスでスイミングスクールに移動し、専門のインストラクターによる指導を受けている

というものです。

委託先のスイミングスクールは屋内プールであるため、先程申し上げました気温上昇に伴う授業数の確保の問題の解決にもつながっており、また導入後に教職員に実施したアンケートでは、専門のインストラクターによる指導を受けることにより、児童の泳力が向上するなどの好意的な意見もあったそうです。

児童や保護者に実施したアンケートからも多くの好意的な意見があり、コスト面においても、各学校に設置されたプールを利用するよりも負担が減るとのことでした。

その一方で、利用しなくなったプールの活用方法や障がいのある児童への対応、また民間事業者が撤退した場合はどうするのかなどの様々な課題もあるそうです。

次に、2日目には備前市で給食費及び学用品費の無償化について視察を行いました。

備前市では、少子化対策の一環として、平成29年度に多子世帯への学校給食費の補助金を交付するという形でスタートし、その後、形を変え、現在は全児童・生徒に対し、給食費及び学用品費の無償化を行っているとのことでした。

令和6年度でいいますと、児童数・生徒数を合わせて1,760人に対して、まかない材料費が約1億1,000万円、学用品費が約3,400万円の予算額で、財源はふるさと納税を活用しているとのこと。担当者から事業の説明を受ける中で、事業の実施に当たっては、やはりどこから財源を持ってくるかの問題が大きく、また一度事業を始めてしまふとなかなかやめられないとの発言もありました。その一方で、給食費及び学用品費の無償化は、備前市で数多く実施している少子化対策のあくまで一部であり、備前市としては、少子化対策に力を入れているとの発言もあり、市としての強い姿勢を感じたところでございます。

以上、今回2日間の行政視察においては、本市とは状況が違う点もありますが、参考にすべき点も多くあり、視察を行った委員全員が、今後、福祉文教常任委員会における活動に生かしてまいりたいと考えたところでございます。

これで福祉文教常任委員会の閉会中の継続調査報告を終わります。

◎議長（川西 仁議員）

はい、ありがとうございました。

次に、総務常任委員会委員長、細川健一議員。

◎3番（細川健一議員）

3番、細川。

◎議長（川西 仁議員）

はい、3番、細川健一議員。

[3番 細川健一議員 登壇]

◎3番（細川健一議員）

ただいま議長の許可をいただきましたので、総務常任委員会の閉会中の継続調査報告をいたします。

総務常任委員会では、去る10月23日から24日にかけて、京都府八幡市及び三重県伊賀市へ行政視察を実施いたしました。

1日目は、八幡市役所で、「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」について説明を受けました。

このプロジェクトは、事業の参加者が、専用の活動量計やスマホアプリを用いて歩数を計測し、定期的に計測データの送信を行うことで、歩数などに応じてポイントが付与されるというもので、本市が本年9月から実施している健康ポイント事業と類似の事業であります。獲得したポイントについて、本市においては、デジタル通貨「MIMACA」のポイントと交換する仕組みですが、八幡市においては、最大4,000ポイントを1ポイント1円相当のクオカードや図書カードに交換できるほか、寄附することもできることになっております。

また、八幡市では、地方創生推進交付金を活用して、令和元年度から5年計画でこの事業を実施しており、令和5年度の医療・介護給付費の抑制効果額を2億2,500万円と試算しているとのことであります。また、現在、事業の参加者は約4,800人ということであります。市の18歳以上人口の8.2%に達しており、その理由を尋ねたところ、「新規参加者については、活動量計での参加に限定したが、活動量計を身につけて歩く方が増えることで事業の広告塔となった」「同じ活動量計を持つ参加者同士の一体感にも高まり、参加者からの口コミで広がったことも大きい」との説明がありました。

八幡市の取組については、医療・介護給付費の抑制効果や普及促進策など、本市においても参考にすべき事例であると感じました。

2日目は、伊賀市の三重中央開発株式会社で、災害廃棄物等の処理に関する研修を受けました。

三重中央開発株式会社は、巨大地震等で本市が被災した際に、いち早く災害復旧を行うために災害廃棄物等の処理に関する基本協定を締結している大栄環境株式会社の子会社であります。

まず、収集・運搬から、中間処理、再資源化、最終処分まで一貫したリサイクルシステムを展開している西日本最大級のリサイクル施設を、敷地面積が約70万平方メートルと広大なため、バス移動で説明を受けながら視察をいたしました。この施設であれば、いざという時に災害廃棄物を迅速かつ適切に処理できるものと実感をいたしました。

次に、事務所の会議室で、災害廃棄物等の処理についての説明を受けました。

発災直後に、計画に基づいた迅速かつ適切な初動対応がその後の災害廃棄物処理の難易度に大きく影響するため、平時からの計画策定と確認・見直しの継続的な取組が必要である。特に、平時からの備えとしては、災害廃棄物の仮置場を確認し、運用を考える。現在使用可能な状況か、仮置場とした場合に、ネックとなる事項はないか。運用上注意すべき点はあるかなど、災害の度合いに応じた使用箇所の検討等が必要であるとのことであります。

以上、今回の行政視察において得られました取組等は、参考にすべき点も多く、今後の総務常任委員会における活動に生かしてまいりたいと考えております。

以上で、総務常任委員会の閉会中の継続審査報告を終わります。

◎議長（川西 仁議員）

はい、ありがとうございました。

次に、国道193号（美馬・高松間）整備促進特別委員会委員長より報告をお願いいたします。

国道193号（美馬・高松間）整備促進特別委員会委員長、井川英秋議員。

◎13番（井川英秋議員）

13番、井川。

◎議長（川西 仁議員）

はい、13番、井川英秋議員。

[13番 井川英秋議員 登壇]

◎13番（井川英秋議員）

ただいま、議長から指名がございましたので、国道193号（美馬・高松間）整備促進特別委員会から、去る10月25日、高松市役所で行った整備促進についての高松市との実務者協議及び先程議長から議長報告でありましたように、11月13日、14日に行った期成同盟会会長の加美市長とともに、特別委員会として国土交通省及び国への要望・陳情活動について、ご報告をいたします。

まず、10月25日に行った高松市との実務者協議ですが、出席者は高松市から中林副市長、坂東都市整備局長、また担当部局から2名、美馬市から東條副市長、園木建設部長、担当部局から2名、行政として双方合わせて8名と、副市長をトップとしての実務者協議は初めてですので、高松市市議会からの提案で議会も参加しての協議会になりました。

議会の参加者は、高松市議会の参加は坂下副議長ほか3名で、美馬市議会からは、私と地元の蔭山議員の6名でございました。

協議会では多くの意見が出ましたが、主立った内容をご報告いたします。11月に行う美馬市の国土交通省への提出する要望書の説明と、改定したその内容について、また補足資料の説明をし、高松市の理解もいただきました。また、直近の整備状況についてお互い報告し合い、徳島県側では現在まだ道路改良整備としてはまだ進んでいないので、国・県に対して、要望活動がより以上必要になるとの意見を申し上げ、香川県については、一般広域道路として求められるサービス速度に満たない区間の改良整備に向けて香川県が設計を進めているとの報告がありました。後に聞いた話ですが、塩江から少し徳島県側に来たところの大きなカーブをしているところがトンネルになる計画の設計をしているようでございます。香川県と高松市は先行していろいろな形で予算づけをして改良を進める方向みたいですね。

しかし、今後、両市としては、局部的な改良整備ではなく、路線全体の整備促進をより早く進めるため、両市が今まで以上に協力して、国・県に対して強く要望することを確認いたしました。

また、議会からの提案で国道193号は県管理であるため、両県がより以上共通認識を持ち、早期事業化につなげるため、特に中核都市である高松市、大西高松市長を中心に、両県知事のトップ会談が進められるよう働きかけてもらうことで意見が一致いたしました。

また、年間に何回か協議会を開催して意見交換をすることも決めました。

次に、11月13日、14日の両日に行った国土交通省及び国会への要望・陳情についてご報告をいたします。

この活動は、先程申し上げましたが、期成同盟会の要望の活動の一環ですが、本市独自で行った活動でございます。

要望活動には、加美市長、川西議長、特別委員会から私と、大変強行スケジュールですので、地元の委員である蔭山議員にも参加してもらい、お手伝いをしていただきました。担当部局として、尾形都市政策課長も参加してもらいました。今回の活動内容としては、徳島県側から朝田県土整備部長の同行があり、また県土整備部砂防防災課長、高規格道路課長補佐も同行いただきました。

要望先は基本的に朝田部長の案内で、佐々木国土交通省道路局次長、廣瀬技官への要望・陳情は、山口俊一代議士も同行していただき、要望・意見交換を行いました。加美市長から、要望書に沿って、国道193号の改良、改修の必要性を申し上げ、整備促進特別委員会の趣意書も提出をいたしました。

主な意見交換の内容として、特徴的な意見としては、県管理の国道は県が整備するため、県予算を伴うことから、具体的な話がなかなか進まなかった。大至急、まずは国土交通省、徳島県、香川県、美馬市、高松市の5者により同じテーブルに着き、具体的な整備内容の検討を行う必要があるとの結論になりました。

また、国土交通省道路局の企画課、高速道路課、環境安全・防災課、国道・技術課等の関係、課長を含む37名の担当者に要望書、整備促進特別委員会の趣旨書をお渡ししてお願いしてまいりました。

今回の要望は、国土交通省に対して徳島県朝田県土整備部長の案内で、ともに要望活動をしてくれたのが大きな意味があると思います。徳島県の本気度も感じました。また、両日にわたり、徳島県選出国會議員、国道193号に係る香川県選出国會議員、また道路関係国會議員の皆様の事務所を訪ねて要望書・整備促進議会特別委員会趣意書を渡し、要望・陳情を行いました。

これをもちまして、国道193号（美馬・高松間）整備促進特別委員会委員長報告を終わりますが、特別委員会とは関係はないのですが、別に川西議長と蔭山議員は、市長とともに堤防の関係、担当部局の約20名の方々に要望・陳情を行いましたので、強行スケジュールで大変だったかと思います。

以上でございます。

◎議長（川西 仁議員）

はい、ありがとうございました。

以上で、諸般の報告を終わります。

これより本日の日程に入ります。

本日の議事日程は、ご配付の日程表のとおりであります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、6番 田中みさき議員、8番 都築正文議員、10番 中川重文議員を指名させていただきます。

次に、日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、11月20日の議会運営委員会の決定のとおり、本日より12月17日までの22日間といたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（川西 仁議員）

はい、異議なしと認め、本定例会の会期は本日より12月17日までの22日間と決定をさせていただきます。

なお、会期中の会議日程につきましては、ご配付のとおりといたしたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

次に、日程第3、議案第71号、令和6年度美馬市一般会計補正予算（第5号）から議案第76号、美馬地区広域行政組合が共同処理する事務の変更に伴う財産処分についてまで、及び議案第79号、工事請負変更契約の締結についてから議案第83号、重清北交流促進簡易宿泊施設の指定管理者の指定についてまでの11件を一括し、議題といたします。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。

◎市長（加美一成君）

はい、議長。

◎議長（川西 仁議員）

はい、加美市長。

[市長 加美一成君 登壇]

◎市長（加美一成君）

おはようございます。

本日、令和6年12月美馬市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、日頃は市勢発展のため、ご理解、ご協力を賜っておりますことにつきましても、厚く御礼を申し上げる次第でございます。

それでは、所信を述べます前に、3点ご報告をさせていただきます。

初めに、国政の動きについてであります。

10月27日に投開票された衆議院議員総選挙を受け、野党が躍進をする中で、自公連立の第2次石破内閣が発足をいたしました。内閣発足後の初閣議では、「日本を守り、国民を守り、地方を守り、若者・女性の機会を守る」との基本方針を決定し、地方こそ成長の主役との発想に基づき、地方創生の取組を再起動させるとともに、新たな地方創生交付金について、令和7年度予算で倍増を目指すことを表明いたしました。

また、今月22日には、「日本経済・地域経済の成長」「物価高騰の克服」「国民の安心・安全の確保」、この3本柱から成る総合経済対策が閣議決定をされましたが、少子高齢化や人口減少が急速に進行し、様々な課題に直面しております本市におきましても、国が打ち出す施策について、アンテナを高く情報収集し、有効に活用してまいります。

次に、にし阿波の花火についてであります。

1 1月9日、美馬市と三好市にまたがる県立西部健康防災公園において、「第3回全国花火師競技大会にし阿波の花火」が開催をされました。美馬市側の会場では、新たな試みとして、花火の打ち上げ前に有名アーティストによる音楽フェスが開催をされるなど、大きな盛り上がりを見せたところでございます。

主催者である実行委員会によりますと、今回のイベントには、昨年を大きく上回る3万人の皆様が来場されたとのことであり、にし阿波を代表するイベントとして美馬市の知名度向上にも大きく貢献をしていただいております。

今回延べ50人の職員がスタッフとしてイベントに協力をさせていただきましたが、市外からお越しをいただいた方々に、滞在時間の延長や観光消費額の向上につながるよう、今後ともこうしたイベントへの支援を行ってまいります。

次に、「2024雲南国際友好都市青少年交流週間」イベントへの参加についてであります。

10月14日から21日までの行程で、中国雲南省で開催をされたイベントに、本市から若い方々を中心に10名が参加をいたしました。イベントでは、本市の友好都市である大理市をはじめ、雲南省の歴史や自然に肌で触れながら、現地の青少年との交流が行われたところでございます。参加された皆さんからは、実際に訪れることで、多様な文化に触れ、忘れられない経験になったなどの感想をいただいております。今後もこうした機会を生かして、大理市との友好関係を深めてまいります。

さて、本定例会には令和6年度一般会計補正予算などの議案を提出させていただいておりますが、提案理由をご説明を申し上げます前に、当面する市政の課題と主要施策についてご説明を申し上げ、議員各位をはじめ、市民の皆様のご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

初めに、「未来へつなげる！市民の誰もが思いを実現し、健康で、活躍できるまちづくり」であります。

令和元年度から5年間実施をしてまいりましたヴォルティスコンディショニングプログラムの成果を踏まえ、OB・OGをはじめ、60名の皆様をエキスパートとして認定をし、地域おこし協力隊とともに、市内各地でコンディショニング教室を開催をしております。これまでに目標をしていた240名を超える方々に参加をしていただいております。

また、ウォーキングの歩数などに応じてデジタル地域通貨MIMACAと交換できる健康ポイント事業を9月から実施をしております。この事業におきましても、これまで412名の皆様に参加をしていただいているところでございます。

今後もこうした取組を通じて、市民の皆様のライフパフォーマンスの向上や健康寿命の延伸につなげてまいります。

次に、大阪・関西万博についてであります。

大阪・関西万博がいよいよ来年4月13日から開催をされます。本市におきましては、市制20周年記念事業の一環として、小・中学校の児童・生徒の皆さんがこの万博を体験をできるよう、今回の補正予算に債務負担行為を計上させていただいております。児童・生徒の皆さんが万博会場で未来社会を体感するとともに、多様な文化・価値観に触れるこ

とで、新たな気付きを得て、将来の可能性を伸ばすことにつながればと考えております。

次に、「元気な美馬！賑わいがあり『ひと』と『しごと』が好循環する、まちづくり」であります。

うだつの町並みのうだつ未来館につきましては、株式会社風土創研を指定管理者として選定をし、準備を進めておりますが、来る12月19日の午前10時にオープンをする運びとなりました。この1階には、地元の食材を活用したパンやドーナツの製造販売、そしてチャレンジショップとして活用するほか、2階については、ギャラリー兼コミュニティースペースとして幅広い皆様に利用していただくことといたしております。

うだつの町並みの新たなにぎわいにつながるよう、指定管理者と連携をし、しっかりと取り組んでまいります。

次に、「未来の暮らしを守る！安全・安心、快適な環境で便利に生活できるまちづくり」であります。

今月23日、穴吹小学校において、令和6年度の地域防災リーダー養成研修を実施をし、各自主防災組織のリーダーなど、75名の皆様に参加をしていただきました。今回の研修は、地域防災の牽引者となる方々の総合的なスキルアップを目指したものでありまして、徳島大学の中野晋特命教授から、能登半島地震の教訓を生かした南海トラフ地震対策についての講義を受けたほか、美馬市防災士連絡会の皆様からロープワークの指導をいただくなど、実践的な内容でございました。

今後とも、こうした研修を継続をすることにより、地域防災力の向上に努めるとともに、災害発生時に自助、共助、公助の各機能が十分発揮されるよう、効果的な取組を進めてまいります。

それでは、上程をいただきました主な議案の概要について説明をさせていただきます。

初めに、議案第71号、令和6年度美馬市一般会計補正予算（第5号）についてであります。この補正予算は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億5,050万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を224億6,950万円とするものであります。

それでは、補正予算の主なものについて説明をさせていただきます。

総務費では、地域交流センターミライズの修繕料など1,026万1,000円を計上しております。

民生費では、障害福祉サービス給付費の不足額や、低年齢児の入園希望に対応するための江原認定こども園改修事業費など1億7,585万2,000円を計上しております。

衛生費では、脇町猪尻地区の市営墓地整備工事請負費など、3,585万1,000円を計上しております。

教育費では中学校の教師用教科書・指導書などの購入費や、穴吹ふれあいスポーツ公園野球場の環境整備事業費を計上する一方、国指定史跡郡里廃寺跡史跡公園整備事業の補助金交付内示を受け、事業費の減額を行っております。

災害復旧費につきましては、農地や林道、市道の災害復旧事業費として5,513万1,000円を計上しております。

また、小・中学校の大阪・関西万博体験業務委託など、合わせて11件の債務負担行為

についても設定をいたしております。

以上が、一般会計補正予算（第5号）の概要であります。

次に、議案第72号、令和6年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、事業勘定において、過年度保険給付費等交付金など、2,923万2,000円を計上するとともに、直診勘定におきましては、木屋平診療所の医療機器の整備費など984万5,000円を計上しております。

次に、議案第73号、令和6年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、保険事業勘定において、過年度国庫負担金等の返還金や配食サービス費の不足額など5,339万6,000円を計上しております。

次に、議案第74号、令和6年度美馬市下水道事業会計補正予算（第2号）につきましては、公共下水道施設の維持管理業務を委託するに当たり、必要となる債務負担行為を設定をいたしております。

次に、議案第75号、美馬地区広域行政組合同規約の変更について及び議案第76号、美馬地区広域行政組合が共同処理する事務の変更に伴う財産処分についてであります。

この案件は、美馬地区地区広域行政組合が共同処理する事務を変更して、同組合が設置する美馬地区広域振興基金を廃止をするために、議案75号において、規約の変更について、議案第76号においては、財産処分について、それぞれ議決を求めるものであります。

次に、議案第79号、工事請負変更契約の締結についてであります。

この案件は、令和6年度穴吹農村環境改善センター災害対策本部機能充実工事に係る工事請負変更契約について議会の議決を求めるものでありまして、変更前の契約金額に1,892万5,500円を増額し、変更後の契約金額を1億6,192万5,500円とするものであります。契約の相手方は美馬市美馬町字妙見67番地2、株式会社北岡組代表取締役北岡眞文であります。

次に、議案第80号、工事請負契約の変更についてであります。この案件は昨年9月議会定例会で議決をいただき、工事を進めております。美馬市役所庁舎非常用自家発電設備改修工事に係る工事請負契約のうち、契約金額を2,059万9,700円増額し、2億5,438万8,200円とすることについて、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第81号、工事請負契約の変更についてであります。この案件は、本年6月議会定例会で議決をいただき、工事を進めております。令和6年度穴吹スポーツセンター大規模改修工事に係る工事請負契約のうち、契約金額を1,309万5,500円増額し、2億9,249万5,500円とすることについて、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第82号、美馬市シカ肉等処理加工施設の指定管理者の指定について及び議案第83号、重清北交流促進会議宿泊施設の指定管理者の指定についてであります。

これら2つの議案につきましては、令和7年4月1日からそれぞれの施設の指定管理者を指定することについて、議会の議決を求めるものであります。

本定例会には、ただいまご説明を申し上げたものを含め、専決処分の承認案件が1件、予算案件が4件、その他案件が9件の合わせて14件を提出させていただいております。

このうち、後程説明をさせていただきます議案第77号及び議案第78号のその他案件

2件につきましては、本日、先議をお願いいたしたいと存じます。お取り計らいの程よろしく願いをいたします。

ご審議を賜り、原案のとおりご賛同賜りますようお願いをいたしまして、私からのご挨拶及び提案理由の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎議長（川西 仁議員）

はい、以上で提案理由の説明が終わりました。

次に、日程第4、議案第77号、物品購入契約の締結について及び議案第78号、物品購入契約の締結についての2件を一括し、議題といたします。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。

藤本副教育長。

◎副教育長（教育次長）（藤本貴子君）

議長。

◎議長（川西 仁議員）

はい。

[副教育長（教育次長） 藤本貴子君 登壇]

◎副教育長（教育次長）（藤本貴子君）

それでは、本日先議をお願いいたします議案第77号及び議案第78号の物品購入契約の締結についてご説明申し上げます。

議案書の12ページ及び13ページをお願いいたします。

議案第77号及び議案第78号は、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決をお願いするものでございます。

初めに、12ページの議案第77号につきましては、令和6年度市内小学校児童用タブレット端末購入事業に係る物品購入契約でございまして、去る11月8日に指名競争入札の開札を行い、同日に仮契約の締結を行ったものでございます。契約の相手方は美馬市脇町大字猪尻字若宮南117番地1、四国チエルクリエイト株式会社、脇町営業所、代表取締役山下信夫氏であり、契約の金額は7,978万7,400円でございます。

次に、13ページ、議案第78号につきましては、令和6年度市内中学校生徒用タブレット端末購入事業に係る物品購入契約でございまして、議案第77号同様、去る11月8日に指名競争入札の開札を行い、同日に仮契約の締結を行ったものでございます。契約の相手方は美馬市脇町大字猪尻字若宮南117番地1、四国チエルクリエイト株式会社、脇町営業所、代表取締役山下信夫氏であり、契約の金額は5,205万8,930円でございます。

議案第77号及び議案第78号の説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎議長（川西 仁議員）

はい、以上で提案理由の説明が終わりました。

ただいま議題となっております議案第77号及び議案第78号の2件につきましては、

先程の提案説明にあったように、先議といたしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

はい、異議なしと認めます。よって、議案第77号及び議案第78号の2件につきましては、先議をすることにいたします。

これより質疑に入ります。

ただいまのところ質疑の通告がございませんので、質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了させていただきます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第77号及び議案第78号の2件につきましては、会議規則第37条、第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

はい、異議なしと認めます。よって議案第77号及び議案第78号の2件につきましては、委員会付託を省略することといたします。

これより討論に入ります。

ただいまのところ討論の通告がございませんので、討論なしと認めます。

これをもって討論を終結させていただきます。

これより採決いたします。議案第77号、物品購入契約の締結について及び議案第78号、物品購入契約の締結についての2件を一括し、採決いたします。

お諮りいたします。議案第77号及び議案第78号の2件につきまして、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

はい、異議なしと認めます。よって、議案第77号及び議案第78号の2件につきましては、原案のとおり可決させていただきます。

次に、日程第5、承認第12号、専決処分の承認を求めることについて(令和6年度美馬市一般会計補正予算(第4号))を議題とさせていただきます。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。

◎企画総務部長(吉田正孝君)

議長、企画総務部長。

◎議長(川西 仁議員)

はい、吉田企画総務部長。

[企画総務部長 吉田正孝君 登壇]

◎企画総務部長(吉田正孝君)

それでは、私から承認第12号についてご説明申し上げます。

議案書の23ページをお開き願います。

承認第12号は、令和6年度美馬市一般会計補正予算（第4号）を地方自治法第179条第1項の規定により、去る10月9日に専決処分いたしましたので、同条第3項の規定により報告をし、承認を求めるものでございます。

27ページをお願いいたします。

一般会計補正予算（第4号）は、第1条、歳入歳出予算の補正のとおり、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,900万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ222億1,900万円としたものでございます。

29ページ及び30ページの第1表、歳入歳出予算補正につきましては、歳入歳出の補正額を款項ごとに区分し、掲載したものでございます。

それでは、まず歳出補正予算の内容についてご説明申し上げます。

34ページをお願いいたします。

去る10月9日に衆議院が解散されたことを受け、10月27日執行予定の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に要する経費として、職員人件費や郵便料、ポスター掲示板作成・設置・維持管理及び撤去委託料など合わせて2,900万円を計上したものでございます。財源は全て県支出金でございます。

33ページにお戻り願います。

歳入補正予算につきましては、歳出補正予算の財源となる県委託金を計上しております。

以上で、専決処分をいたしました令和6年度美馬市一般会計補正予算（第4号）の説明とさせていただきます。ご承認を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◎議長（川西 仁議員）

はい、以上で提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

ただいまのところ質疑の通告がございませんので、質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結させていただきます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております承認第12号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（川西 仁議員）

はい、異議なしと認めます。よって、承認第12号につきましては、委員会付託を省略することにいたします。

これより討論に入ります。

ただいまのところ討論の通告がございませんので、討論なしと認めます。

これをもって討論を終結させていただきます。

これより採決いたします。承認第12号、専決処分の承認を求めることについて（令和6年度美馬市一般会計補正予算（第4号））を採決いたします。

お諮りいたします。承認第12号について、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

はい、異議なしと認めます。よって、承認第12号につきましては、原案のとおり承認をさせていただきます。

次に、休会についてをお諮りいたします。

会期中の会議日程につきましては、ご配付のとおりであります。明日11月27日から12月3日までの7日間は、議案精査及び市の休日のため休会といたしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

はい、異議なしと認めます。よって、明日11月27日から12月3日までの7日間は休会とさせていただきます。

以上で、本日の議事日程は全て終了いたしました。

なお、次会は12月4日午前10時より再開をし、代表質問及び一般質問を行います。

本日はこれをもって散会とさせていただきます。

散会 午前11時01分

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和6年11月26日

美馬市議会議長

美馬市議会副議長

会議録署名議員 6番

会議録署名議員 8番

会議録署名議員 10番